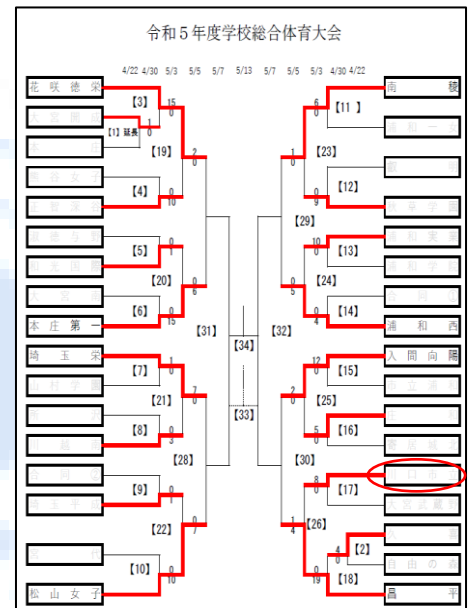


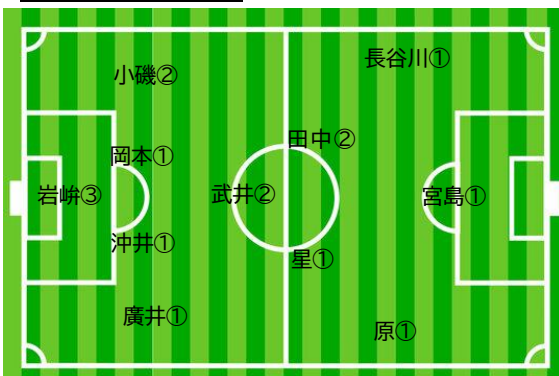
<Episode1>

無事に初戦を突破した川口市立高校を待ち受けていたのは、昌平高校。こちらも初戦となった2回戦を19対0と大勝してきた、今大会の第2シードチームです。3回戦も本校グラウンドを会場に、定刻通り14時にキックオフしました。立ち上がりから昌平高校の高い技術と豊富なアイデアに翻弄されてしまいますが、最後のところで踏ん張り、何とか失点を免れます。試合も落ち着いてきた中で、チャンスをつかっていたのですが、ちょっとしたスキをつかれて連続失点してしまいました。ゴールキーパーにとってはノーチャンスともいえるような素晴らしいシュート2本でしたが、シュートを打たせる前に相手の嫌がるプレーをしていく必要があったかもしれません。リードを許しましたが、決して下を向くことなくプレーを続け、獲得したコーナーキック。キッカーは小磯(2年スポ科;白岡 SCL)。それまでに獲得していたコーナーキックでもよいボールが蹴れており、期待が高まります。またしても良いボールが中へ送られ、ヘディングで合わせたのは交代で出場していた岡崎(1年スポ科;1FC川越水上公園)-ナ)。1点を返し、勢いに乗ります。その後もチャンスを作り、左サイドを小磯(2年)と長谷川(1年スポ科;INAC白岡)のコンビで完璧に崩し、中央でフリーの宮島(1年スポ科;1FC川越水上公園)-ナ)へ。誰もが同点に追いついた!と思ったそのボールは無情にもゴールポストをたたき、追いつけず1対2で前半を折り返します。自分たちのプレーに自信を持ち、やり切れれば勝機は見えてくるという中で迎えた後半。前半から執拗に突破を試みる昌平の攻撃がボディブローのように効き始め、一つひとつのプレーの判断のスピードが遅れ始めます。また、相手の突破についていくことができない回数も増え、徐々に押し込まれてしまう内容になってしまいました。後半、先に失点してしまいましたが、川口市立レブンは諦めません。追いつき、逆転すべく、メンバー交代をしながら相手ゴールに迫ります。しかし、昌平も集中力を切らしてはくれず、後半ロスタイムには再び失点してしまい、1対4で試合終了となりました。大変悔しい思いはありますが、下級生が多い中で、この時期に県内トップクラスの実力校である昌平高校と対戦できたこと、県内トップを目指すための自分たちのやらなくてはならないことが明確になったことは、敗戦した中での大きな収穫になりました。これからが川口市立高校女子サッカー部の「本気」を見せるときです。日々の練習に取り組み、34名一致団結し、選手権大会では一千必勝で関東大会出場を目指していきます。

暑いなかでしたが、多くの皆様に応援いただけましたこと、心より御礼申し上げます。これからはリーグ戦や練習試合などが続いていきますので、これからも変わらず川口市立高校女子サッカー部の応援をよろしくお願いいたします。



STARTING XI



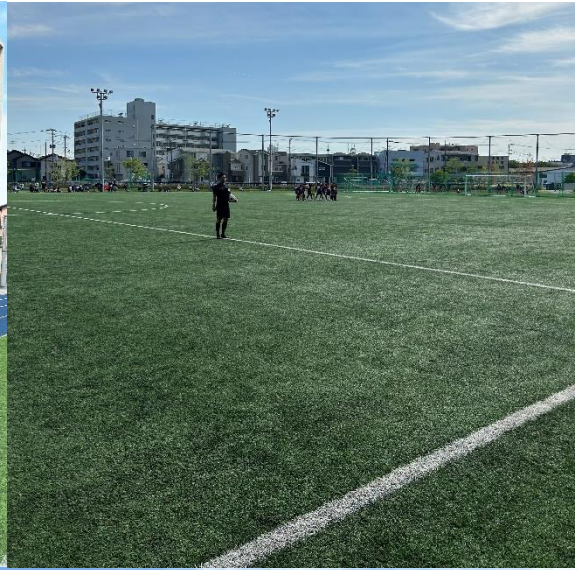
《交代》

星 → 岡崎①
長谷川 → 飯吉①
原 → 斎藤②

《得点者》

岡崎(1年スポ科;1FC川越水上公園)-ナ)

Photo Gallery



【 N e x t M a t c h 】

未 定